

株式会社越戸商店

(鮮魚を原料とした製品加工と卸売)



会社紹介

当社工場は、北三陸の魚市場から車で10分と恵まれた場所に立地しており、鮮魚を活かした加工販売をしています。加工は衛生第一。徹底的に管理された環境で行われ、美味しく・安全な製品をお届けしております。

会社の良いところ (会社PR)

- ・2800人の小さな普代村から全国そして世界へ商品をお届けしています。
- ・被災した人達を家族ぐるみで受け入れ、働ける状況を作りたいと考えています。そのためには住む場所の確保、雇用の場を提供する事が重要で、普代村と連携・協力することで実現できると考えます。地域全体を発展させ、地域に貢献したいと強く願っている会社です。

求める人材像

- ・協調性があり、会社とともに自分自身も高めていきたいと考える意欲的な人。
- ・営業業務・・・営業は電話での受注が主となり、それに付随する事務処理業務。現場を知らずにはできないため、入社後すぐは加工現場等での作業により、鮮魚の知識や自社製品の水産加工品について覚えてもらいます。
- ・加工業務・・・鮮魚選別・箱詰・水産物冷凍加工・箱詰、イクラの加工全般(イクラの洗浄、味付け、箱詰等)。
- ・他に機械管理などの業務もあります。それぞれの適性により、配属します。

働いている年齢層

10代	20代	30代	40代	50代	60名	合計
6名	24名	14名	19名	20名	10名	93名

勤務時間

1年単位の変形労働時間制

4月～8月・・・8:00～17:00

9月～12月・・・8:00～17:30

1月～3月・・・8:15～17:00

休日休暇

日曜、祝日(市場の稼働により出勤の場合も有)、お盆休み、年末年始
(変形労働時間制による会社カレンダー)

初任給

158,900円

昇給

年1回(5月)

賞与

年2回 合計2カ月分

※1年単位の変形労働時間制:
季節的な繁閑の差がある場合、繁忙期には週40時間を超える時間、閑散期には週40時間より短い時間の労働時間とし、1年を平均して週40時間以内の労働時間とすること

社内行事

- ・新年会(1月)従業員へ1年間お疲れ様と言う気持ちを含め開催。
- ・決算報告会(7月)
- ・研修の一つとして、契約している社会保険労務士の方から、様々なテーマ(安全衛生、年金、交通事故等)についての講義をしていただく事もあります。

採用実績

平成29年度卒:1名 平成28年度卒:2名 平成27年度卒:1名

採用実績校

久慈工業高等学校、久慈東高等学校、久慈高等学校長内校、種市高等学校、久慈高等学校

【会社概要】

会社名 株式会社越戸商店
所在地 下関伊都普代村第19地割字白井17番地
TEL 0194-35-2661
FAX 0194-35-2426
HP <http://www.marukoshi-so.jp/>
代表者 代表取締役 越戸 優
創業 昭和43年
従業員数 93名
事業所 本社普代工場、宇部店、久慈店(土風館内)
関連会社として有マルコシ商店
事業内容 鮮魚を原料とした水産加工、販売、小売業





はやしざき ゆうき
林崎 裕己

プロフィール

出身地：久慈市

出身校：久慈高等学校

担当業務：現場兼事務

入社：平成29年4月



～ 一日の流れ ～

	睡眠
6:00	起床、朝食、出勤
8:00	各店舗、県外出荷に係わる業務
12:00	昼食
13:00	伝票チェック、伝票作成などデスクワーク
17:00	入浴 夕食 趣味
23:00	睡眠

仕事の内容

- ・市場より仕入れした鮮魚、を準備し、出荷。
- ・全国、海外への出荷をパソコンに入力して、出荷伝票を作成。
- ・市場からの伝票と実際の入荷が合っているかチェックをし、仕切入力をする。
- ・現場が忙しい時には、鮮魚の大きさを揃えて、規格に合わせた箱詰め、秋の鮭の時期は、イクラ部屋にて化粧箱に詰める作業などを手伝う。
- ・海外輸出に関して、取引先電話でのやり取り。



▲ 出荷作業



▲ イクラ加工

先輩の情報(入社のきっかけ、スキルアップのため頑張っていること、休日の過ごし方、など)

仕事をする前は、漠然と魚に触れるだろうなあというイメージを持っていましたが、自分の担当する業務は思ったより事務的な仕事が多いと感じています。また、水産物は時期により獲れるものが違うため、自然の影響を受けやすく1年間を通して仕事をしてみると分からないことが多いです。

嬉しかったこと、困ったこと、仕事をしていて感じるあれこれ

最初、仕事は実際に経験して、見て覚えるという指導に戸惑いましたが、分からない事は積極的に上司や先輩方に聞きながら、メモをしっかりと取ることを心掛けるようにしました。

取引先相手の業務のため、突発的な注文に対応する必要もあります。また忙しい時には加工などの現場作業を手伝うこともあり、助かったと言ってもらえると嬉しく感じます。

現場の仕事はまだ分からない事が多いので、いろいろ覚えていきたいです。

高校生へのメッセージ

分からない事は分からないままにしないで周りの人に聞いた方がいいです。うまくコミュニケーションが取れないと問題が大きくなることもあるので、今からいろいろな人とコミュニケーションが取れるようにしてください。また、メモを取るくせをつけておくといいと思います。

高校時代に頑張った事

柔道部に所属していました。主将を務めていて部員をまとめる事を頑張りました。